

# 画像

1. 概要 .....	2
1-1. オブジェクト概要 .....	2
1-2. 倍率で指定 .....	2
1-3. 領域に合わせる .....	3
1-4. 表示位置 .....	4
1-5. イメージ間隔 .....	4
1-6. 対応画像フォーマット .....	5
1-6-1. Cast/Print/PrintStage/Expage の対応画像フォーマット .....	5
1-6-2. Screen の対応画像フォーマット .....	5
2. 固定イメージオブジェクト .....	6
3. イメージ変数オブジェクト .....	8
3-1. 入力データ .....	8

## 1. 概要

### 1-1. オブジェクト概要

Create!Form では画像ファイルを参照して帳票上に固定もしくは動的に画像データを描画することができます。

画像描画のためのオブジェクトとしては以下のものが用意されています。

- ・固定イメージオブジェクト
- ・イメージ変数オブジェクト

オブジェクトのプロパティ画面で画像の描画方法や配置を指定することができます。

図：プロパティ



### 1-2. 倍率で指定

画像の表示サイズを倍率を指定して出力できます。X倍率 : Y倍率 共に “1.000” に設定すると元々の画像サイズで表示できます。(初期設定)

[縦横比を固定] した場合は、X倍率のみの設定となり、元画像の縦と横の比率を保ったまま画像サイズを拡大・縮小します。

### 1-3. 領域に合わせる

Formエディター上で定義した固定イメージ・イメージ変数の定義領域の幅・高さを基準に画像サイズを拡大・縮小します。

各設定による出力は次の図のようになります。

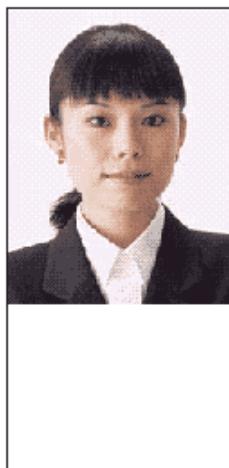
図：[領域に合わせる]

実寸



設定：イメージ変数、領域にあわせる

縦横比を固定した拡大



縦横比を固定しない拡大



: 定義領域を示す

縦横比を固定した拡大



縦横比を固定しない拡大



## 1-4. 表示位置

Formエディター上で定義した固定イメージ・イメージ変数の定義領域のどこを基準に画像を表示するかを選択します。

設定は、[左上][左下][右上][右下][中央]となります。

## 1-5. イメージ間隔

イメージ変数では、1つのイメージ変数に対して、複数行の画像ファイル名をマッピングすることにより、製品カタログなど、連続して画像を切り替えて表示していく表現が可能となります。

この際、1つ1つの画像の送り（行送り）はイメージ変数の定義領域のサイズが基準となっています。これに対し、イメージ間隔を指定することにより、次の画像の出力位置をずらすことが可能です。

図：イメージ間隔



] イメージ間隔



] イメージ間隔



## 1-6. 対応画像フォーマット

イメージ・イメージ変数で出力可能な画像ファイルフォーマットは、以下のとおりです。

### 1-6-1. Cast/Print/PrintStage/Expage の対応画像フォーマット

- ・BMP ファイル

色数 :

1 ビット 2 色

8 ビット 256 色 RGB インデックスカラー

24 ビット RGB フルカラー

圧縮 : 非圧縮

※ BITMAPINFOHEADER(オフセット : 0x000e が 0x28(40)) 以外のヘッダー形式のファイルは動作保証外です

- ・TIFF ファイル

色数 :

1 ビット モノクロ

4 ビット 16 色 RGB インデックスカラー、グレースケール

8 ビット 256 色 RGB インデックスカラー、グレースケール

24 ビット RGB フルカラー

32 ビット CMYK フルカラー

圧縮 : 非圧縮、FAX G3、FAX G4、PackBits、LZW

※ 32 ビット CMYK フルカラーは、非圧縮と LZW のみ対応しています。

※ TIFF 画像内に以下の解像度情報が必要です。

TIFFTAG\_XRESOLUTION

TIFFTAG\_YRESOLUTION

- ・JPEG ファイル

色数 :

24 ビット RGB フルカラー

32 ビット CMYK フルカラー

符号化方式 : ベースライン、プログレッシブ

- ・EPS ファイル (Print ランタイムのみ)

Adobe Illustrator バージョン 7 以上

<< 注意 >>

PDF/X-1a を設定している場合、出力可能なフォーマットは以下の通りです。

- ・TIFF ファイル

色数 : 32 ビット CMYK フルカラー

圧縮 : 非圧縮、LZW

- ・JPEG ファイル

色数 : 32 ビット CMYK フルカラー

符号化方式 : ベースライン、プログレッシブ

### 1-6-2. Screen の対応画像フォーマット

閲覧するブラウザーで表示可能な画像です。

## 2. 固定イメージオブジェクト

固定イメージオブジェクトは、固定の画像を帳票上に描画するオブジェクトです。

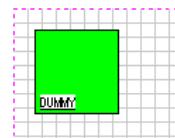
固定イメージオブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページに固定イメージオブジェクトが出力されます。

Formエディター画面上で固定イメージオブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある[イメージ]アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：[イメージ]アイコン



図：固定イメージオブジェクト



表示する画像はプロパティ画面の[属性]タブの[イメージファイル名]欄で指定します。

図：プロパティ



[参照]ボタンをクリックして画像ファイルを選択してください。画像ファイルは以下のフォルダーに配置する必要があります。

- ・ランタイムがCast/Print/PrintStage/Expageの場合  
Formファイルと同じフォルダーに配置します。

- ・ランタイムがScreenの場合

イメージURLに指定したパスの直下に配置されている必要があります。イメージURLについての詳細はオンラインマニュアルの[3.機能リファレンス]-[3.8 HTML出力設定]-[3.URL設定]を参照してください。

図：固定イメージオブジェクト



### 3. イメージ変数オブジェクト

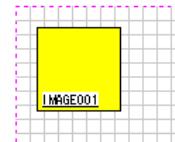
イメージ変数オブジェクトは、入力データから取得した画像ファイルのパスを元に可変的に画像データを帳票上に描画するオブジェクトです。

Form エディター画面上でイメージ変数オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある [ イメージ変数 ] アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ & ドロップして配置します。

図：[ イメージ変数 ] アイコン



図：イメージ変数オブジェクト



#### 3-1. 入力データ

イメージ変数オブジェクトにマッピングする入力データについて説明します。

- ・ ランタイムが Cast/Print/PrintStage/Expage の場合  
Cast/Print/PrintStage/Expage ランタイムでは、マッピングしたデータに画像ファイルのパスを記述します。絶対パスで指定することができます。
- ・ ランタイムが Screen の場合  
Screen ランタイムでは、マッピングしたデータに画像ファイルの URL を記述します。絶対パスで指定することができます。

# Create!Form 12

## 画像 第 3 版

---

発行日 2024 年 8 月  
発行者 インフォテック株式会社